



SUNTORY HALL

第51回

受賞記念コンサート

# サントリー音楽賞

ワクワク、ドキドキ、ホッ  
心うごくソロ、室内楽、協奏曲

# 河村尚子

(ピアノ)

Commemorative Concert of  
the 51st Suntory Music Award  
Hisako Kawamura (Piano)

## 室内楽

2023年3月9日(木) 19:00開演(18:20開場)  
サントリーホール ブルーローズ(小ホール)

Thursday, March 9, 2023 at 19:00 (Doors open 18:20)  
Suntory Hall, Blue Rose (Small Hall)

## 協奏曲

2023年3月13日(月) 19:00開演(18:20開場)  
サントリーホール 大ホール

Monday, March 13, 2023 at 19:00 (Doors open 18:20)  
Suntory Hall, Main Hall

主催：サントリーホール [suntory.jp/HALL](http://suntory.jp/HALL)

協賛：サントリーホールディングス株式会社

[@SuntoryHall\\_PR](https://twitter.com/SuntoryHall_PR) [@suntoryhallJAPAN](https://www.facebook.com/suntoryhallJAPAN)



サントリー音楽賞を受賞して3年が経とうとする。  
その間、辛い大きな病にかかることはなかったが、水際対策の為、  
大好きな人々に会えなかったり、ホテルに缶詰にされたり、音楽会が成立しなかったり…。  
しかし、その時に湧き出た様々な感情と想いは、  
必要とされる特別な時までキッチンと金庫に蓄えていたのだ。

そう、サントリー音楽賞 受賞記念コンサートというとおきの音楽会にて、  
聴衆の皆様が大いに堪能して頂けるように。

なんと贅沢なんだろう！ソロ、室内楽、そしてオーケストラとの共演を  
心から敬愛する音楽仲間と共にサントリーホールで二夜にわたって愉しめるだなんて。  
これまでに挑戦したかった作品をドイツ・ロマン派の名曲と絡め合わせたプログラム。  
是非ワクワク、ドキドキ、ホッとしていただきたい。会場でも舞台でも！

河村尚子



## 室内楽

ピアノ：河村尚子 Hisako Kawamura, Piano  
ドーリック弦楽四重奏団 Doric String Quartet

矢代秋雄：ピアノ・ソナタ

Akio Yashiro: Piano Sonata

レベッカ・クラーク：ピアノ三重奏曲

Rebecca Clarke: Piano Trio

シューマン：ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44

Robert Schumann: Piano Quintet in E-flat Major, Op. 44

2023年3月9日(木) 19:00 開演 (18:20開場)  
Thursday, March 9, 2023 at 19:00 (Doors open 18:20)

サントリーホール ブルーローズ (小ホール) Suntory Hall, Blue Rose (Small Hall)

S席7,000円 A席5,000円 サイドビュー席3,000円 学生1,000円



河村尚子によるプログラム  
へのコメントはHPにて全文  
公開しています。

「アメリカ出身の後期ロマン派作曲家であるエイミー・ビーチの存在を知ったのは、ロックダウン中の学生のオンライン・スピーチを通してだった。彼女自身が大変優れたピアニストだった為、作風が大変華やかで超絶技巧的作品が多いが、旋律や和声が美しく、音楽がリスト、チャイコフスキー、ブラームスにどこか似たところがある。知らない曲なのに、どこか懐かしい匂いがする。ブラームスのピアノ協奏曲第2番は大変スケールの大きいピアノ協奏曲ではあるが、室内楽の延長線にある様な作品で、オーケストラとピアノが溶け合う音楽だなあ、といつも実感してしまう。勿論ピアノがソロ楽器として活躍する場面が沢山登場するのだが、ピアノ三重奏、四重奏、五重奏でよくあるように、他の楽器の伴奏に回る場面も少なくはない。情熱と愛情に溢れる一方で、哲学の宇宙にぶっ飛んだり、ウィーンのカフェに遊びに行ったり…。この作品は、ロックダウンになる寸前に演奏した思い出の曲。なかなか共演する機会がない山田和樹氏と素晴らしいプレイヤー達が揃う読売日本交響楽団と共に、この大室内楽曲を演奏する一夜を心待ちにしている。」



## 協奏曲

ピアノ：河村尚子 Hisako Kawamura, Piano  
指揮：山田和樹 Kazuki Yamada, Conductor  
読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

エイミー・ビーチ：『仮面舞踏会』作品22

Amy Beach: *Bal masque*, Op. 22

エイミー・ビーチ：ピアノ協奏曲 嬰ハ短調 作品45

Amy Beach: Piano Concerto in C-sharp Minor, Op. 45

ブラームス：ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 作品83

Johannes Brahms: Piano Concerto No. 2 in B-flat Major, Op. 83

3月13日(月) 19:00 開演 (18:20開場)

Monday, March 13, 2023 at 19:00 (Doors open 18:20)

サントリーホール 大ホール Suntory Hall, Main Hall

S席9,000円 A席7,000円 B席5,000円 C席3,000円 学生席1,000円

### 2公演購入特典

3月9日「室内楽」と3月13日「協奏曲」の2公演のチケット(S席またはA席)をお買い求めいただいた方に、抽選で河村尚子サイン入りプログラムをプレゼントいたします。詳細はサントリーホール ホームページをご覧ください。

© Marco Borggreve



## 第51回(2019年度) サントリー音楽賞 贈賞理由(抜粋)

いまや優れた日本人ピアニストの名を挙げることは、さして難しいことではない。しかし、河村尚子くらい表情豊かで血の通った音楽を奏でる人がどれくらいいるだろうか。彼女の演奏は、周到なまでに構築的な設計がなされているのだが、しかしなにより驚くのは、その土台の上で、猫のような敏捷性に支えられた閃きの数々が、次々と生気に満ちた音楽的瞬間を炸裂させる点にある。どのフレーズも、どのフォルテも、どのクレッシェンドも、はっきりとした意志と感情が込められているから、それを彼女がどう解釈しているのか、どう扱いたいのかが手に取るように分かる。聴き手は、音楽がひとつの運動であることを、「生きている」何ものかであることを、その演奏からあらためて知らされることになるだろう。



© Marco Borggreve

### 河村尚子(ピアノ) Hisako Kawamura, Piano

ミュンヘン国際コンクール第2位、クララ・ハスキル国際コンクール優勝。ドイツを拠点に、ウィーン響、バイエルン放送響などにソリストとして迎えられ、室内楽でもカーネギーホールなどで演奏。日本ではP.ヤルヴィ指揮NHK響など国内主要オーケストラと共演を重ねる傍ら、ヤノフスキ指揮ベルリン放送響、ピエロフラウヴェク指揮チェコ・フィル等の日本ツアーに参加。文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞ほか、2020年には第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞独奏・独唱部門賞、第12回CDショップ大賞2020・クラシック賞、第51回サントリー音楽賞を受賞。主なCDに、19年10月リリースの、「熱情」「ワルトシュタイン」を含むベートーヴェンのピアノ・ソナタ集、「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 & チェロ・ソナタ」など(RCA Red Seal)。19年秋公開の映画『蜜蜂と遠雷』(恩田陸原作)では主役・栄伝亜夜のピアノ演奏を担当し、その音楽を集めた「河村尚子plays栄伝亜夜」もリリースされている。現在、ドイツのフォルクヴァング芸術大学教授。

オフィシャル・ホームページ：<http://www.hisakokawamura.com/>



© George Garnier

### ドーリック弦楽四重奏団 (3/9出演) Doric String Quartet

第1ヴァイオリン：アレックス・レディングトン(Alex Redington)  
第2ヴァイオリン：イン・シュー(Ying Xue)  
ヴィオラ：エレネ・クレマン(Hélène Clément)  
チェロ：ジョン・マイヤースコウ(John Myerscough)

時代の最先端を走り続け、洗練された室内楽を聴かせる、イギリスが誇る名門クアルテット。1998年イギリスで結成され、世界中の聴衆や批評家を魅了し、今最も注目されている四重奏団である。アルバン・ベルク四重奏団、ハーゲン・クアルテットのメンバー等によるマスタークラスにて研鑽を積み、2000年プリストル・ミレニアム弦楽四重奏コンクールで第1位、08年には大阪国際室内楽コンクールで第1位に輝いた。現在、イギリスの主要なホールを始め、世界各地の主な音楽祭、著名なホールに頻りに招かれていくほか、数多くのCDも高く評価されている。



© Marco Borggreve

### 山田和樹(指揮) (3/13出演) Kazuki Yamada, Conductor

第51回バザンソン国際指揮者コンクールで優勝。これまでに、パリ管、ドレスデン国立歌劇場管、チェコ・フィル、フィルハーモニア管、サンタ・チェチーリア管、ワシントン・ナショナル管など、世界の主要オーケストラに客演を重ねている。2016/17シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任。18/19シーズンから首席客演指揮者を務めるバーミンガム市交響楽団とは、22年7月にBBCプロムスにデビュー。23年4月からは首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任予定。国内では読売日本交響楽団首席客演指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長などを務めている。出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、文化庁芸術祭大賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。



© 読売日本交響楽団

### 読売日本交響楽団 (3/13出演) Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。現在、常任指揮者をS.ヴァイグレが務め、東京のサントリーホールや事業提携を結んでいる東京芸術劇場などで演奏会を多数開催。2017年11月にはS.カンブルラン指揮のメシアン〈アッジジの聖フランチェスコ〉(全曲日本初演)が好評を博し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン」第1位、サントリー音楽賞、レコード・アカデミー賞(特別部門)を受賞した。演奏会などの模様は日本テレビ「読響プレミア」で放送されている。

<https://yomikyoo.or.jp/>

## ■ サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売： 2022年11月23日(水・祝) 10時~29日(火)

※先行期間中は窓口での販売はございません。

## ■ 一般発売：2022年11月30日(水) 10時~

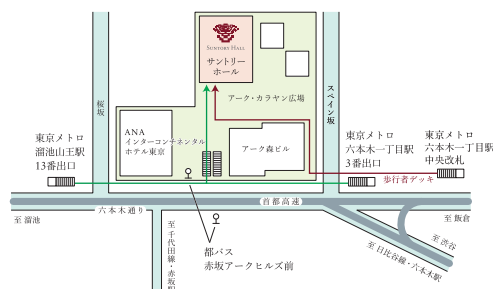
※学生席はサントリーホールチケットセンター(ウェブ・電話・窓口)のみ取扱います。  
25歳以下(2023年3月末時点)、来場時に学生証提示要、お一人様1枚限り。

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00~18:00、休館日を除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB [suntoryhall.pia.jp/](http://suntoryhall.pia.jp/)

チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) / イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp) / ローソンチケット [l-tike.com](http://l-tike.com)

※曲目等に変更がでる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 ※就学前のお子様はご入場いただけません。



東京メトロ・南北線/六本木一丁目駅(3番出口) 徒歩5分  
東京メトロ・銀座線/溜池山王駅(13番出口) 徒歩7分  
都営01系統バス(渋谷~新橋) 赤坂アークヒルズ下車